

下水道機構の『新技術情報』 第76号
(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

昨日は、大寒でしたね。ここで豆知識をひとつ。大寒の時に生まれたたまごは「大寒たまご」とよばれ、栄養豊富で滋養に良く、風水的には金運がアップするといわれているのだとか。産卵から市場までの流通を考えると、今からでも大寒たまごをゲットできるかも？

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第76号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・1/16(水) 下水道クイックプロジェクト推進委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、1/24(木) 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会、1/25(金) 第61回(平成24年度第2回)新技術現場研修会 を開催します！

■Tea Break

- ・がまんの厳冬の釣り (研究第二部 伊藤雄二さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・まる子は本日はお出かけのためお休みします

■国からの情報

- ・1月18日付け下水道ホットインフォメーション

●1/16(水)に平成24年度第1回下水道クイックプロジェクト推進委員会を開催しました

本委員会は、下水道未普及地域の解消のため、「人口減少下における下水道計画手法」「地域特性を踏まえた新たな整備手法の導入」について技術的な検討を行なうことを目的に設置されたものであり、本年度は、極小規模処理施設技術の一般化に向けた検討を進めております。

今回の委員会では、北海道苫前町における接触酸化型極小規模処理施設社会実験の中間報告および北海道、岩手県の4市町における極小規模処理施設社会実験の経過報告が行われました。

次回の委員会では、北海道苫前町における社会実験の結果報告、および同報告に基づく接触酸化型極小規模処理施設技術の一般化に関する審議が行われる予定です。

。 ○ ○ 。

機構の動き (機構の行事予定です)

。 ○ ○ 。

◎1/24(木) 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会

場所：横須賀市役所

議案：津波対策基本計画案、海外流出解析モデルの適用性等について

◎1/25(金) 第61回(平成24年度第2回)新技術現場研修会

場所：第二溜池幹線及び勝どき幹線その2工事

(東京都中央区勝どき5丁目5番地「発進立坑」)

テーマ：シールド工法における新技術

●1/16(水)～2/1(金) 下水汚泥エネルギー化の好事例説明会

※詳細はこちら→ <http://www.jiwet.jp/pdf/gesuioidei-energy.pdf>

●2/8(金) 新技術研究発表会【大阪会場】

2/15(金) 新技術研究発表会【東京会場】

※参加お申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

。 ○ ○ 。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。 ○ ○ 。

●がまんの厳冬の釣り (研究第二部 伊藤雄二さんからの投稿です)

この時期の釣りは寒い、いっぱい着込む、がまんです。

私は海の船釣りが趣味ですが、朝3時に眠い目をこすって起きて船宿に行き、釣りの準備をし、出船。早いときで7時過ぎには釣り始めます。この時期の気温は0度前後。時にはマイナスもあります。最新のヒートテックの下着を2枚、防寒着の上に雨合羽も着ます。船上では帽子の上にフード、指先が空いた手袋もつけます。でも寒い時には寒い。身体にはつらい朝です。強い風と波が高ければ最悪です。

こんなつらい状況とわかっていても釣りに行く。竿が突然に動き始めるときのほっとした気持ち、仕掛けがばれないようにやり取りしながら巻き上げるときの感触、これがあるから寒さもがまんできるのかなと思います。実はそれだけではなく、魚を持ち帰り、さばいて刺身にして食べる。食いしん坊の私にはこれがまたいいんです。ちなみに、最近の私の釣りものの中心はマダイとイカです。

○第4回 水環境マネジメント検討会の開催について【流域管理官】

○下水研モデル Ver.1.1.0 の提供開始【国総研】

=====

○平成24年度補正予算案の閣議決定について【下水道事業課】

1月15日の臨時閣議において、平成24年度補正予算案が閣議決定されました。今回の補正予算全体の財政支出は約13.1兆円であり、このうち「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（1月11日閣議決定）の実施に伴う経済対策は約10.3兆円となっています。国土交通省では、本対策に基づき「(1)復興・防災対策」、「(2)成長による富の創出」、「(3)暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化して必要な経費の積み上げを行っています。

国土交通省 補正予算総額	約1兆8,801億円
(1)復興・防災対策	約1兆1,658億円
(2)成長による富の創出	約4,933億円
(3)暮らしの安心・地域活性化	約2,211億円

このうち、下水道事業については、(1)復興・防災対策として「下水道の老朽化対策」及び「下水道の防災対策（浸水対策、地震対策）」を、(3)暮らしの安心・地域活性化として「下水道の整備による良好な都市・水環境の形成」及び「下水汚泥バイオマスの活用による再生可能エネルギーの創出」をそれぞれ計上しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000093.html

○第3回 下水道マネジメントのためのベンチマーキング手法に関する検討会の開催について【下水道企画課】

未普及解消、老朽化施設の更新、低炭素循環型社会への対応等多様な政策課題に直面している下水道事業において、客観的な評価と継続的な改善活動を導入し、持続可能な下水道経営を確立していくことを目的として、昨年8月、「下水道マネジメントのためのベンチマーキング手法に関する検討会」（座長：滝沢智 東京大学大学院教授）を設置し、検討を行っています。

1月21日(月)に、第3回検討会を開催いたしますのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000184.html

○第4回 水環境マネジメント検討会の開催について【流域管理官】

社会情勢の変化をふまえた上で、水環境の改善に向けた、より効果的・能動的な下水道等管理の実現に向け、新しい時代の水環境マネジメントのあり方を検討するため、「水環境マネジメント検討会」が設置され、これまで3回の検討会が開催されたところです。引き続き水環境マネジメントの議論を具体化すべく第4回検討会を開催（1月23日（水））いたしますのでお知らせします。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000264.html

○下水研モデル Ver.1.1.0 の提供開始【国総研】

国総研では、従来、合流式下水道からの雨天時流出水の水質解析用の集中型シミュレーションモデルとして活用されてきた「土研モデル」を、分布型シミュレーション

モデルとして改良し、2006年4月に「下水研モデル」として無償公開しました。

この度、修正RRL法による流量解析機能や、処理場・貯留池も含めた下水流量や汚濁負荷量の年間解析集計機能等を追加したVer.1.1.0の提供を開始しました。

詳細については、国総研下水道研究室ホームページの下記URLをご覧ください。

<http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/wsdmodel/wsdmodel.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■第18回「下水道循環のみち研究会」セミナーの開催について

【日本下水道施設業協会】

(2月18日開催)

<http://www.siset.or.jp/>

→1月10日掲載

■下水汚泥エネルギー化の好事例説明会の開催について

【下水道企画課・下水道機構】

(1月16日～2月1日開催：開催地により異なる)

<http://www.jiwet.jp/pdf/gesuioidei-energy.pdf>

→12月14日掲載

★図書のご案内☆

■沖大幹先生著『水の日本地図』（朝日新聞出版）

http://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=14428

→12月21日掲載

=====

【参考情報】

みなべの古川 水質やや改善 <1/13 日高新報>

<http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2013/01/post-1484.html>

◆濁流の記憶、次代へ 広範囲に冠水 朝倉・蜷城地区 証言集め被害特定 <1/13 西日本新聞>

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/343007>

◆バイオガス発電広がる <1/15 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/job/news/20130115-OYT8T00231.htm>

◆清流どこへ:行橋の汚水処理/2 進まぬ下水道 /福岡 <1/16 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20130116ddlk40040387000c.html>

◆横須賀市が津波ハザードマップ作成・配布「まずは高台に逃げてほしい」/神奈川 <1/17 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1301170001/>

◆炭化し代替燃料で再利用 前橋の下水汚泥処理問題 <1/17 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/20130117/CK2013011702000131.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>
